



題字：ボランティア協力員 三瓶 辰一

発行：地域支援ネットワークボランティア
運営委員会
発行者：運営委員長 中丸 茂由
事務局：会津若松市高齢福祉課内
〒965-8601
会津若松市栄町5-17
電話39-1290 FAX 39-1431

令和6年1月1日発行（第120号）

～運営委員からのあいさつ～

○中丸 茂由運営委員長
協力員の皆様明けまして
おめでとうございます。

協力員の皆様には良い年
をお迎えのこととお喜び申
し上げます。

昨年は、ボランティア活動
にご協力いただき誠にあり
がとうございました。感謝
申し上げます。



今年の干支は辰年で、
縁起が良い年と言われ、
歓迎されております。

前列右側より 小林國弘委員 中丸茂由委員長 皆方貞子副委員長 星聖委員
後列右側より 渡部妙子委員 宮森礼子委員 國廣多美子委員 池上泰子委員
*池上委員は現在運営委員会活動をお休みしています。

この縁起良い力を借りて、ボランティア活動の更なる発展を願っております。

令和6年は、会津若松市社会福祉協議会ボランティア連絡協議会と連携を図りながら、
次の3点を柱に、協力員の皆様の協力を得て、ボランティア活動を推進して参ります。

1. 協力員の仲間を増やしましょう

昨年は新型コロナウイルスの影響を受け協力員が多数退会されました。新型コロナの扱
いが5類に移行したことから、活動が活発になるよう仲間の増員に努めたいと思います。

(1) 市政だよりやFM あいづによる募集呼びかけ

(2) ボランティア学園及びわくわく学園受講生への入会募集案内

2. 協力員相互のコミュニケーションづくりを定期的実施し、相互の絆を強めましょう

(1) 全体会議の充実化検討

(2) 協力員の定期的研修

(3) 他地区のボランティア研修旅行の検討

3. ボランティア活動の場を発掘しましょう

(1) 地域包括支援センター等高齢者関係機関との連携、調整

(2) コロナ前に利用していた施設への声かけ及び未利用施設への説明等

以上のことを踏まえながら、協力員が一丸となり、ボランティア活動の目的「地域住民が
共に支え合う豊かな高齢社会」を目指して参りますのでご協力をお願いいたします。

これからが冬本番です。健康を最優先に、事故にも留意しながら活動をお願いします。

結びに、皆様には良い年となりますよう御祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

○皆方 貞子運営副委員長

明けましておめでとうございます。ボランティア活動で相手を笑顔に♥自分も笑顔に♥今年もよろしく願いいたします。

○國廣 多美子運営委員

新年おめでとうございます。

今年は辰年。陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年だそうです。

私自身も気力・体力・知力をさらに養い、楽しい一年を過ごしたいと思います。

○小林 國弘運営委員

新年あけましておめでとうございます。

ウクライナ、イスラエルと今も続く戦争、動物の縄張り争いと一緒ですね。何故平和的に話し合いで解決出来ないのか。悲惨で悲しいですね。早く平和になって欲しいですね。

コロナも5類になり、日本では人の動きは大分活発になってきましたが、ボランティア活動はまだまだコロナ前には戻っていません。

まずは現状で出来る活動を頑張りたいと思います。今年も宜しく願い致します。

○星 聖運営委員

会員の皆様新年おめでとうございます。今年もよろしく願い申し上げます。

「経験を剣とせず、羅針盤とするように」91歳の女医さんのお言葉を伺いました。

この一年穏やかな心温かな船出でありますようお祈り申し上げます。

○宮森 礼子運営委員

明けましておめでとうございます。

昨年は、異常な気候やコロナや経済に振り回された一年でした。

今年は穏やかな年になることを願いつつ、笑顔でボランティア活動を皆さんと一緒に続けたいと思います。

○渡部 妙子運営委員

新春のお慶びを申し上げます。

最も縁起の良いとされている辰年に皆様に更なる幸運が訪れますように。

個人的には気力と体力の充実を目指しつつ、ダイエットも少々……。

○澤井 和年運営委員

新春のお慶びを申し上げます。

4年ぶりに小生の誕生日があり、“やる気”満々です。

しかしながら、当該ボランティアの実態が、私自身未だ理解できていませんので、焦らずに本年は高齢者を対象にしたボランティアで活動したいと思います。



左 澤井和年委員 右 鈴木良助委員

○鈴木 良助運営委員

明けましておめでとうございます。

つながりづくりの5年度の「つなポン」60ポイントは、昨年6月9日に囲碁等で達成、利用が楽しみです。

人生100年の共生時代、これからも趣味の囲碁等で楽しく、元気に、感謝で対局に精進したいと思います。



新年のごあいさつ

会津若松市長 **空井照平**

新年明けましておめでとうございます。

令和6年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

地域支援ネットワークボランティアの皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃より本市の福祉向上にご協力をいただいておりますことに心から御礼申し上げます。

さて、本市では、現在、令和6年度からスタートする「高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定を進めており、市民の皆様方からも様々なご意見を頂戴いたしております。

特に、令和3年度以降、新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動制限により、地域の各種行事や住民間の交流活動も思うようにできなかったことに伴い、地域の「絆」の確保に苦慮している現状を伺っております。

高齢化社会が進行する中で、地域住民間の助け合いの仕組みづくりは一層求められており、誰もが安心して暮らせる地域を実現するためには、ボランティアなどを通して地域の「絆」を深めていくことが、地域全体の活性化と高齢者を支える多様な主体づくりにつながっていくものと考えております。

今後とも地域支援ネットワークボランティアの皆様には、高齢者を支える多様な主体の一翼として、高齢者の生活支援の推進や支援ネットワークの強化のため、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市といたしましても、市民の皆様のボランティア精神の育成とボランティア活動に取り組みやすい環境整備に努めてまいります。

結びに、地域支援ネットワークボランティアのますますのご発展と協力員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

～会津若松市ボランティア連絡協議会との交流会に参加して～

昨年11月9日（木）に社会福祉協議会にて「会津若松市ボランティア連絡協議会」と「地域支援ネットワークボランティア」の交流会が開催されました。当日は19名の参加がありました。

上林会長、中丸委員長のあいさつに始まり、参加者の自己紹介、各団体の活動報告（活動内容や嬉しかったこと等）、意見交換があり、その後昼食を共にしながらざっくばらんな会話が飛び交い、ボランティアに対する皆様の熱量を感じられる交流会となりました。

「ボランティア連絡協議会」は、昭和60年6月にボランティアの有志が集まり、「ボランティア連絡会」として発足。現在は13団体、8個人で活動されています。



中丸委員長あいさつの様子

いくつかの団体をご紹介します。

- ★点字サークルひよこ
点字奉仕、点字講習会、視覚障がい者との交流
- ★会津わたぼうし会
わたぼうし芸術祭の開催と障がい者との交流
- ★障害者の明日を考える会
障がい者問題啓発、住み良い町づくりとイベントの開催
- ★視覚障害者とコンピュータ勉強会「あい&あい」
視覚障がい者のPC利用支援

意見交換の中で印象に残った話を2つ紹介します。

一つ目は、「會津風雅堂の車椅子スロープ設置を数年に渡り要望した結果、設置が実現して、とても嬉しくやりがいを感じた。」という話。

二つ目は、「活動の中で相手が笑顔になった。『ありがとう』の一言をいただいたから続けられる。」という話。私も同じだなあとうなずきながら聞いていました。

交流会に参加して、新しい出会いや、旧知の方との再会があり、先輩方の元気な姿に刺激を受け、皆様の熱い思いを肌で感じられた充実した時間となりました。

（皆方 貞子運営委員）

《 編集後記 》

新年を迎えて、結婚生活50年目の節目も認知症対策です。後期高齢者の免許更新が出来れば心配ないでしょう。あとは麻雀です。コロナ禍の折に妻に乞われて麻雀を教えました。ところが、今ではめっきり強くなりました。ここで一句

「コロナ禍で 妻が腕上げ ^{ふたり}二人雀」 本年も健康に留意して、ボランティアを更に一層深めて参りたいと思います。老齡から初春の令月を求めて。（K & S）

<現在の協力員数>

男性	36名
女性	82名
合計	118名

編集委員 中丸 茂由・皆方 貞子・池上 泰子・國廣 多美子
(運営委員) 小林 國弘・星 聖・宮森 礼子・渡部 妙子
澤井 和年・鈴木 良助